

ユーザーズガイド

業務用 Android モバイル

Frey Master

ご使用前に、本ユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

記載内容に関するご注意




- 本書では、本機をご使用になる上での基本的な取り扱い方法について説明しております。業務のためのキー操作方法、データ通信方法など、アプリケーションにかかわる取り扱いや、使用上の注意につきましては、ソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。
- 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法等について記述しておりません。
- 本書は間違いの無いよう細心の注意をはらい編集しておりますが、万が一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益について当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で使用することはできません。

安全上のご注意（必ずお読みください）


本機は安全に十分考慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながる場合があります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。


危害・損害の程度とその表示（必ずお読みください）

取り扱いを誤った場合に生じる危害や損害を、次のような記号を用いて安全上の表示しております。


	「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示します。
	「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
	「障害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容を示します。

本機の取り扱い



	<ul style="list-style-type: none">●本機の取り扱いは、次の点を絶対に守ってください。故障や破裂、発火、爆発、火災等の重大な事故の原因となります。<ul style="list-style-type: none">・強い衝撃を与えたり、落下させたり、ぶつかけたり、投げたりしないでください。・高温になる場所（火のそば、炎天下の車内等）や引火性の物質が発生する場所では使用、放置をしないでください。・電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。・充電端子、USB 端子をショートさせないでください。また、端子部を濡らさないようにしてください。・水などの液体をかけないでください。また、水がかかる場所や湿気が多い場所では充電は行わないでください。●使用中・充電中に異臭・発熱に気が付いたら、直ちに使用を中止してください。
--	--

	<ul style="list-style-type: none">●スキャナから発光される LED 光を覗き込まないでください。目に障害を与えるおそれがあります。目に入るような行為は絶対に避けてください。●自動車などを運転中に使用される際は、道路交通法を遵守し操作してください。●航空機内や病院など、使用を禁止された区域では本機を使用しないでください。●磁気カードを本機に近付けないでください。キャッシュカード、クレジットカード等の記録内容が消去される場合があります。●本機を分解、改造、修理しないでください。保証やサービスの対象外となります。
---	---


医用電気機器近くでの取り扱い


	<ul style="list-style-type: none">●植込み型心臓ペースメーカまたは植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本機を 22cm 以上離して携行及び使用してください。●満員電車の中など、混雑した場所では付近に植込み型心臓ペースメーカまたは植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本機を使用しないでください。●医療機関の屋内では次の点に注意してご使用ください。<ul style="list-style-type: none">・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本機を持ち込まないでください。・病棟内では本機を使用しないでください。・ロビー等であっても付近に医用電気機器がある場合は本機を使用しないでください。・医療機関が使用禁止、持込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。●自宅療養などの場合で、医療機関外で植込み型心臓ペースメーカ以外の医用電気機器を使用されるときは、電波による影響について個別に医用電気器メーカー等へご確認ください。
---	---

バッテリーパックの取り扱い

	<ul style="list-style-type: none">●バッテリーパックの取り扱いは、次の点を絶対に守ってください。漏液、破裂、発火等、重大な事故の原因となります。<ul style="list-style-type: none">・火の中に投下しないでください。・バッテリーパックを濡らさないでください。また、濡れた状態で充電をしないでください。・携行、保管する場合はバッテリーパックの端子を金属類に接触させないでください。・落下等、外部からの衝撃により、変形や傷などの異常があった場合は、直ちに使用をやめてください。・所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。●バッテリーパック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。
	<ul style="list-style-type: none">●バッテリーパック内部の液体が皮膚や衣類に付着した場合は直ちに使用をやめ、綺麗な水で十分に洗い流してください。●バッテリーパックは当社指定品以外使用しないでください。

AC アダプター及び USB ケーブルの取り扱い

	<ul style="list-style-type: none">●AC アダプター及び USB ケーブルの取り扱いは、次の点を絶対に守ってください。感電、断線、ショート、火災の原因となります。<ul style="list-style-type: none">・濡れた手で電源プラグにさわらないでください。・電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。・ケーブルを AC アダプターに巻き付けしないでください。・破損したケーブルは使用しないでください。・ケーブルのつけ根部分を無理に折り曲げた状態や束ねた状態で使用しないでください。・屋外で使用しないでください。・AC アダプターを布などでくるまないでください。・AC アダプターのプラグについた埃は乾いた布で拭き取ってください。（トラッキング現象対策）
---	--

	<ul style="list-style-type: none">●長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。●AC アダプターは当社指定品以外は使用しないでください。●AC アダプターは他の製品には使用しないでください。使用した製品が破損するおそれがあります。破損した場合、当社は責任を負いかねます。
---	---

運用に関するご注意

- 一部の国／地域ではBluetooth、無線LAN (Wi-Fi) の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本機の故障や修理・その他取り扱いによって、万が一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に関わらず、当社は責任を負いかねます。
- 無線通信機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生いたしましても当社は責任を負いかねます。
- 本機を分解、改造、修理をしないでください。保証やサービスの対象外となります。

電波障害自主規制について

本機は、一般財団法人 VCCI協会の技術基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

ご使用上の注意（必ずお守りください）

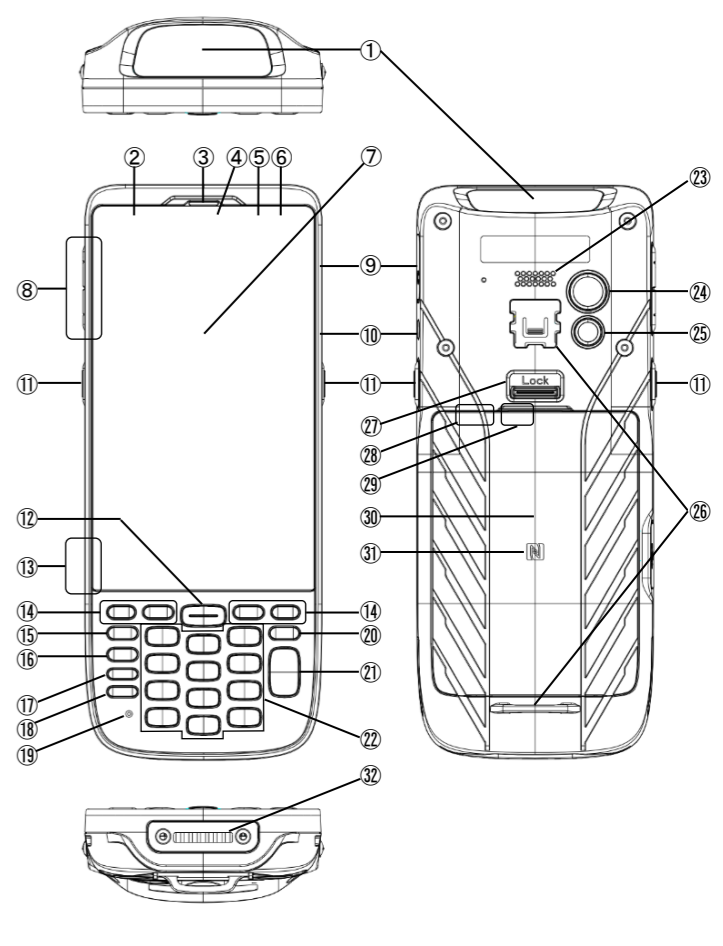
- 本機は次の環境で使用してください。範囲外で使用するると故障の原因となります。
 - 温度：動作時 0～55℃ 充電時 5～40℃
 - 湿度：10～90%（結露しないこと）
- 本機を取り扱いの際は次の点にご注意ください。けがや故障の原因となります。
 - ・運搬、移動時にはケーブルを外してください。
 - ・ケーブルは引っ張って取り外さず、必ずコネクタ部を持って外してください。
 - ・静電気に注意してください。
 - ・ディスプレイの表面を強く押ししたり、こすったり、衝撃を与えないでください。
- バッテリーパックを取り外す場合は必ず電源 OFF してください。電源 ON 状態で取り外した場合、故障する可能性があります。
- 大切なデータは定期的にバックアップしてください。
 - ・本機を使用する際、誤使用、落下や水濡れ等の故障またはバッテリーパックの寿命によるデータの消失や変化したことによる損害について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
 - ・バッテリーレベルが低いまま本機を放置し充電が行えない状態が続くと、内蔵メモリに電源が供給されなくなります。その場合、データの消失や変化が発生します。一度消えたデータを修復することはできません。大切なデータは必ずバックアップを行ってください。
- ディスプレイの汚れは柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お手入れにはアルコールやシンナーあるいはベンジンなどの有機溶剤または研磨剤を含む洗剤を使用しないでください。

同梱品の確認

お買い上げいただいた本機の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万が一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店までご連絡ください。

- 本機
- AC アダプター
- USB ケーブル
- 標準バッテリーパック(1 個)
- ハンドベルト
- ユーザーズガイド(本書)

各部の名称と機能



名称	機能
①スキャナ	バーコードを読み取ります
②照度センサ	周囲の明るさによりディスプレイ輝度を変更します
③レシーバー	通話の際、耳を当てて使います
④スキャン LED (ロゴ)	バーコードを読み取ったことを表します
⑤バッテリー LED	バッテリーの充電状態または低電圧状態を表します
⑥インフォメーション LED	着信または SMS 受信時に点滅します
⑦ディスプレイ	アプリケーションを表示します
⑧ボリュームキー	音量を調整します
⑨イヤホンジャック	イヤホンを接続します
⑩電源ボタン	電源 ON/OFF を行います
⑪サイドトリガキー	バーコードの読み取りを行います
⑫センタートリガキー	バーコードの読み取りを行います
⑬USB	USB 通信または充電を行います
⑭カーソルキー	カーソルを上下左右に移動します
⑮ESC キー	処理の中止や入力を取り消しを行います
⑯TAB キー	文字列間に区切り文字の入力、項目間のカーソル移動を行います
⑰橙キー	アルファベット・記号入力モードに切り替えます
⑱青キー	ファンクションキー入力モードに切り替えます
⑲マイク	通話の際、口元に近づけて使います
⑳BKSP キー	文字列の削除を行います
㉑ENT キー	入力や選択を確定します
㉒テンキー	数字、英字、記号を入力します
㉓スピーカー	アプリケーションの通知音等を鳴らします
㉔リアカメラ	写真や動画を撮影します
㉕フラッシュ	写真撮影時に使用します
㉖ハンドベルトフック	付属のハンドベルトを取り付けます
㉗ロックレバー	バッテリーカバーが外れないようにロックします
㉘micro SD スロット	micro SD/SDHC カードを挿入します
㉙SIM カードスロット	nano SIM カードを挿入します
㉚バッテリーカバー	バッテリーパックが収納されています
㉛NFC	NFC にて他の NFC 対応端末と通信を行います
㉜シングルドック I/O 端子	シングルドック(オプション)にて充電または通信を行います

操作キーの機能

以下の内容は製品標準の機能です。アプリケーションによりキー機能が変更できます。詳細はソフトウェア供給者が作成した操作説明書をお読みください。

キー動作モードを変更する特別なキーが 2 個あります。

- 「橙」と「青」キーを同時に押すと標準モードになります。
- 「橙」キーを押すとアルファベット・記号モードになり、アルファベットや記号を入力できます。1 回押すごとに小文字、大文字が切替ります。
- 「青」キーを押すとファンクションキーモードになり、ファンクションキーが入力できます。

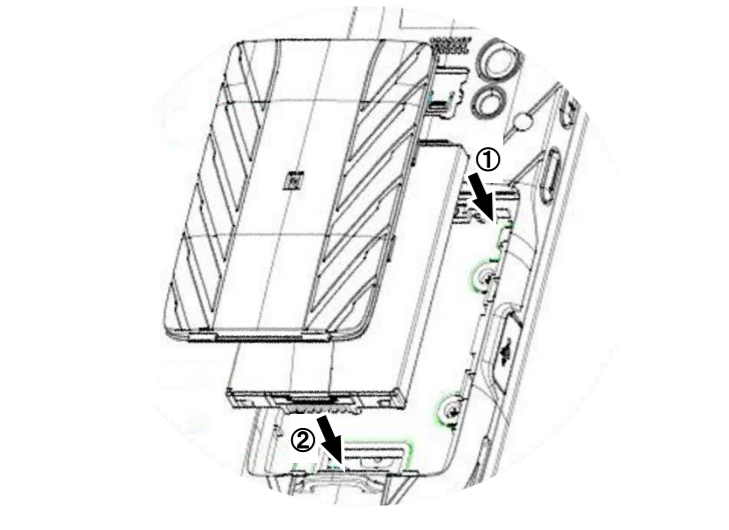
名称	標準	アルファベット・記号	ファンクションキー
センタートリガキー	SCAN	SCAN	SCAN
ESC	Esc	Esc	Esc
TAB	Tab	Tab	Tab
BKSP	Backspace	Backspace	Backspace
ENT	Enter	Enter	Enter
↑	Up	Up	Up
↓	Down	Down	Down
←	Left	Left	Left
→	Right	Right	Right
1	1	@!?	F1
2	2	a b c	F2
3	3	d e f	F3
4	4	g h i	F4
5	5	j k l	F5
6	6	m n o	F6
7	7	p q r s	F7
8	8	t u v	F8
9	9	w x y z	F9
0	0	Space	F10
*	*	-	*
a#	#	+ .	#

バッテリーパックの取り付け／取り外し

ご購入時、バッテリーパックは充電されていません。充電を行ってからお使いください。詳細は「バッテリーパックの充電」をお読みください。

1. バッテリーパックの取り付け

- ロックレバーの青いボタンを押しながら上側にスライドさせ、バッテリーカバーを取り外します。
- バッテリーパックのラベル面を上にして、バッテリー端子がない方から先に差し込み、取り付けてください。



- バッテリーカバーを取り付け、ロックレバーの青いボタンを押しながら下側にスライドさせ固定します。ロックレバーが固定されていない場合、バッテリーカバーが外れ、データ消失や故障の原因となります。

2. バッテリーパックの取り外し

- 取り外す前に、必要なデータは必ず保存してください。
- 電源を OFF にします。電源 ON 状態でバッテリーパックを取り外した場合、本機が故障する可能性があります。必ず電源 OFF してください。
- ロックレバーの青いボタンを押しながら上側にスライドさせ、バッテリーカバーを取り外します。
- バッテリーパックのリボンを引っ張り、取り出してください。長時間取り外すとデータが消えます。詳細は「バックアップバッテリー」をお読みください。

バッテリーパックの充電

バッテリーパックの充電は本機に取り付けた状態で行います。

※電源 ON の状態で、バッテリー残量が 15%以下になると、バッテリー LED が赤色点滅します。速やかに充電を行ってください。
※充電は、必ず当社指定の **AC アダプター**と **USB ケーブル**または**シングルドック(オプション)**をお使いください。
※充電する場合は、必ず 5～40℃の環境下で充電してください。
※バッテリーパックは他の機器では正常に充電できません。他の機器で充電を行った場合、漏液、破裂、発熱、発火の恐れがあります。

1. 充電中の状態表示

充電中の状態は LED で確認できます。

バッテリー LED	状態
赤色	充電中(シングルドック使用または PC 接続時)
橙色	充電中(当社指定の AC アダプターと USB ケーブル使用時)
緑色	充電完了(90%以上)
消灯	AC アダプターから本機に電源が供給されていない
赤色点滅	バッテリーが完全放電された状態からの充電時

2. 充電方法

- AC アダプターをコンセントに差し込みます。
- 本機の USB 端子に USB ケーブルを取り付けます。または、本機をシングルドックに差し込みます。
※シングルドックについての詳細は、シングルドックに付属のユーザーズガイドをお読みください。

3. 充電時間

バッテリーパックの充電時間は、使用環境やバッテリーパックの劣化状態などに応じて異なります。

4. バッテリーパックの交換時期

充放電回数 300 回を目安にしてください。使用状況により寿命期間が変わります。1 年から 2 年間で定期的な交換をお勧めします。

<p>下記のような症状に気が付いた場合はすぐに使用を中止してください。機器の故障や思わぬ事故につながります。</p> <ul style="list-style-type: none">充電中、バッテリーパックの発熱が高くなったとき バッテリーパックが膨らんだとき 満充電をしても使用時間が短くなったとき
--

バックアップバッテリー

本機はバックアップバッテリーを内蔵しています。バックアップバッテリーは、バッテリーパック交換時または一時的な電圧低下の際に時刻や内蔵メモリに保存されているデータの消失、変化を防ぎます。バックアップバッテリーは充電式です。そのため、バッテリーパックを長時間取り外したままや、充電せず低電圧状態のまま本機を放置しないでください。バックアップバッテリーが消費され、時刻や内蔵メモリに保存されているデータが消失または変化します。バックアップバッテリーの充電には時間がかかります。十分に充電されるまでバッテリーパックを外さないようにしてください。

充電式電池のリサイクルについて

本機のバッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しています。また、バックアップバッテリーはリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムイオン電池、リチウムポリマー電池はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みのバッテリーパック、バックアップバッテリーは、販売店または充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

※リサイクル時の注意
バッテリーパックの端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

使用方法

1. 電源 ON
電源キーを長押し(約 1 秒)すると電源 OFF 状態から起動します。
※バッテリーカバーが開いた状態では電源ボタンを押しても電源 ON しません。

2. 電源 OFF
電源 ON 時、電源キーを長押し(約 1 秒)すると、メニュー画面が表示されます。「電源を切る」を選択し電源 OFF します。

3. 強制再起動
電源 ON の状態でボリュームキーの「－(マイナス)」と「電源ボタン」を同時に長押し(約 10 秒)することで強制再起動を行います。強制再起動はフリーズ等、異常な動作をした場合のみ行ってください。

4. PC との接続
同梱の USB ケーブルを使用して PC と USB 通信ができます。PC は Windows 7以上をご使用ください。また、USB ハブを使用した場合、または、市販の USB ケーブルを使用した場合、正常に通信できない場合があります。

5. 操作方法
ユーザーズマニュアルをお読みください。業務のためのキー操作方法、データ通信方法等、アプリケーションに係る取り扱いや、使用上の注意につきましては、ソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。

バーコードの読み取り方

- 所定のアプリケーションを起動します。
- スキャナをバーコードに向けます。
- 「センタートリガキー」、「サイドトリガキー」を押し、赤色 LED 光をバーコードの中央に当てるとバーコードを読み取ります。
- 読み取りが成功するとバーコード上で緑色 LED 光(グリーンスポット)が一瞬点灯します。

※バーコードが読み取れない場合
バーコードに対して赤色LED光の照射角度、距離を調整し読み取りを行ってください。バーコードの幅が広い場合、全体に照射できるように距離を取ってください。バーコードの種類やラベルの条件によって読み取れる距離が異なります。

<p>本機は最大出力 1mW、波長 630～680nmのクラス 2レーザー製品です。レーザー光が目に入るような行為は絶対に避けてください。</p>

本機の長期保管について

本機とバッテリーパックの保管は、温度と湿度をお守りいただき、結露がないところで保管してください。長期保管される場合はバッテリーパックを取り外してください。バッテリーパックを外して本機を保管する場合、バックアップバッテリーが消費されます。ご使用される際は十分な充電を行ってください。

商標について

本書に掲載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

主な仕様

型番	Frey Master WWAN™
OS	Android™ 6.0.1
CPU	Qualcomm® Snapdragon™ 617 A53 Octa core 64bit
メモリ	ROM 16GB <p>RAM 2GB</p> micro SD/SDHC メモリカード
表示	4.3 インチ WVGA TFT カラー液晶 <p>静電容量式マルチタッチパネル</p>
入力	電源ボタン、テンキー、ボリュームキー <p>センタートリガキー、サイドトリガキー、カーソルキー ESC キー、TAB キー、BKSP キー、ENT キー</p>
スキャナ	CMOSイメージャ (2次元) <p>分解能 3mil (Code39)/3mil (PDF417)</p> 読み取りコード <p>UPC-A、UPC-A Add-on、UPC-E、UPC-E Add-on、JAN/EAN-13、JAN/EAN-13 Add-on、JAN/EAN-8、JAN/EAN-8 Add-on、Code128/GS1-128、Code39、NW-7(CodaBar)、ITF (Interleaved 2 of 5)、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked、Japan Post</p> PDF417、MicroPDF417、Data Matrix、MaxiCode、QR Code、micro QR Code、Aztec Code、GS1 Composite
USB	USB2.0 High Speed(micro-B)
Bluetooth	Ver4.1 Class2 (10m) <p>SPP/HID/A2DP/OPP</p>
無線 LAN	IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠
ワイヤレス WAN	LTE、W-CDMA
位置情報	GPS、GLONASS
NFC	Type A/B、Mifare™、FeliCa™
センサ	加速度、磁気、ジャイロ (6 軸)、照度、近接
リアカメラ	800 万画素
音声	スピーカー、レシーバー、マイク
インジケータ	LED、バイブレーション
電源	標準バッテリーパック 2,300mAh 3.7V Li-ion <p>大容量バッテリーパック 3,450mAh 3.7V Li-ion</p> バックアップバッテリー 50mAh 3.7V Li-Po
動作環境	温度 0～55℃ (但し充電時は 5～40℃) <p>湿度 10～90% (結露なきこと)</p>
保存環境	温度 -30～60℃ <p>湿度 10～90% (結露なきこと)</p>
保護等級	IP54
落下強度	1.5m コンクリート※1 <p>0.5m タンブルドロップ※2</p>
取得規格	VCCI Class B/TELEC
外形寸法	175mm(L) × 71.8mm(W) × 19.5mm(H)
重量	約 300g(標準バッテリーパック装着時)

※1 6 面各 3 回コンクリート面に落下。当社規定による試験値であり保証値ではありません

※2 直径 0.5mのドラム内で 300 回の回転落下。当社規定による試験値であり保証値ではありません

●本書に記載されている内容は、予告なく変更することがあります。

<p>輸入販売元</p> 株式会社アルフ 〒155-0032 東京都世田谷区代沢 3-6-11 TEL：03-5432-7170 FAX：03-5432-7172 ホームページ http://www.alf-net.co.jp/
--